


様式第1号

令和3年7月14日

真庭市議会
議長 小田康文 殿

真庭市議会議員 浅野 和昭 

調査研究、研修会、要請・陳情活動届

政務活動費を使用して、下記のとおり研究、調査等を行いますので届けます。

記

1 区 分 調査研究 研修会 要請・陳情活動

2 訪 問 先
オンライン研修

3 内 容
7月21日
「効果的な予算・決算の審議手法を考える」セミナー
主催：(株)地方議会総合研究所(東京都文京区千石2-34-)

4 行 程

5 事務局から訪問先への依頼 必要 不要

(注) 複数の議員で実施する場合、代表者の届けでよいが、参加議員名簿を添付すること。






様式第2号

報 告 書

令和3年8月6日

真庭市議会議長 殿

報告者 真庭市議会議員 氏名 浅野 和昭  印

下記のとおり政務活動費を使用して 調査研究・研修会 要請陳情活動をいたしましたので、その結果を報告いたします。

1	日 時	自 令和 3年 7月 21日 (午前 <u>午後</u>) 2時00分
		至 令和 3年 7月 21日 (午前 <u>午後</u>) 5時00分
2	場 所	オンライン研修
3	用 件	「効果的な予算・決算の審議手法を考える」セミナー 主催：(株)地方議会総合研究所(東京都文京区千石2-34-)
4	概 要	別紙のとおり



報告書（継紙）

決算審議における着眼点（税収、補助金収入、収入未済額など予定通りにあったか。差異があればその理由は何か。流用が不当に行われていないか、予算超過の支出はないか、法令に違反した支出がないか、など。）

財産に関する着眼点（行政財産、普通財産はどのように増減したか。また、それに伴う管理費はどのようになったか。基金取り崩し額の推移、取り崩す必要性。公共施設はどれだけ整備・改善が図られたか。それによって住民生活の利便性は向上したか。公務員数はどのように増減したか。また、その理由。また、一般財源に占める給与費の比率はどう変わったか。財政力は総合的に見てどのようになっているか。地方債の現債額が予算執行の結果どのように変化したか。）

財政比較分析表の着眼点（財政力指数、実質公債費比率の見方と利用方法）

議会における予算審議手法（予算議決権、予算修正権、予算特別委員会・予算常任委員会の適正、予算に対する修正と限界、当初予算否決の留意点、予算増額修正の範囲など）
上記の他、議員や委員として現実的にどこまで執行部へ関与して行けるか、またその手法などを学びました。